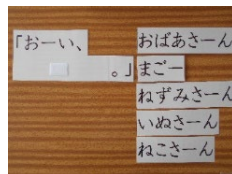


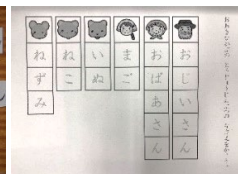
教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることの指導 ～読み聞かせ、平仮名の読み書き、劇遊びを組み合わせた事例～			
学部・教科	小学部・国語科	事例コード	2204
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> 小学部5学年（重複障がい学級） 音声言語で教師や友達とやりとりをしたり、発声や身振りサインで自分の意思や気持ちを表したりすることができる。 国語の学習においては、絵本の読み聞かせやパネルシアターを見て、登場人物の動作を真似したり、教師からの発問に答えたり、平仮名で自分の名前や物の名前を書いたりする姿がある。 		
単元(題材)名	『劇遊びをしよう～おおきなかぶ～』		
学習指導要領の内容	国語科／小学部2段階 〔知識及び技能〕イ（ア） 〔思考力、判断力、表現力等〕B書くことーイ、C読むことーア、イ		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【〔知〕イ（ア）】 <small>* 本事例集では、学習指導要領の目標及び内容に基づいた表現に編集しています。</small>	自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。【〔思〕Bイ】 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。【〔思〕Cア】 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。【〔思〕Cイ】	言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。【小2段階目標ウ】
単元(題材)の計画	総時数10時間 1 読み聞かせを聞く。 2 タイトルと登場人物の名前や登場人物の登場する順番を書く。 3 タイトルや登場人物の名前を書き、演目を作成する。 4 劇遊びをする。		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過とともに、人や動物が次々と加わるという内容の「おおきなかぶ」を題材とし、台詞を言ったり、動いたり教師や友達と楽しみながら内容理解を深めることをねらいとして取り組んだ。 教材は、読み聞かせの後に、児童が登場人物カードを貼って、登場する順番を確認できるようにしたり、「おーい、〇〇さん。」「うんとこしょ、どっこいしょ。」の台詞を文字で提示し、動作と結び付けて表現したりできるように作成した。 本単元を通して、登場人物の行動や場面の様子などを想像したり、時間的な順序を読み取ったりする力が身に付き、話の面白さや楽しさに気付いたり、言葉の理解を広げたりする姿が見られた。 		



登場人物カード・台詞カード



台詞カード



登場人物の名前のなぞり書き